

# 「建設リサイクル推進計画2020」

## 関東地域版について

令和2年9月

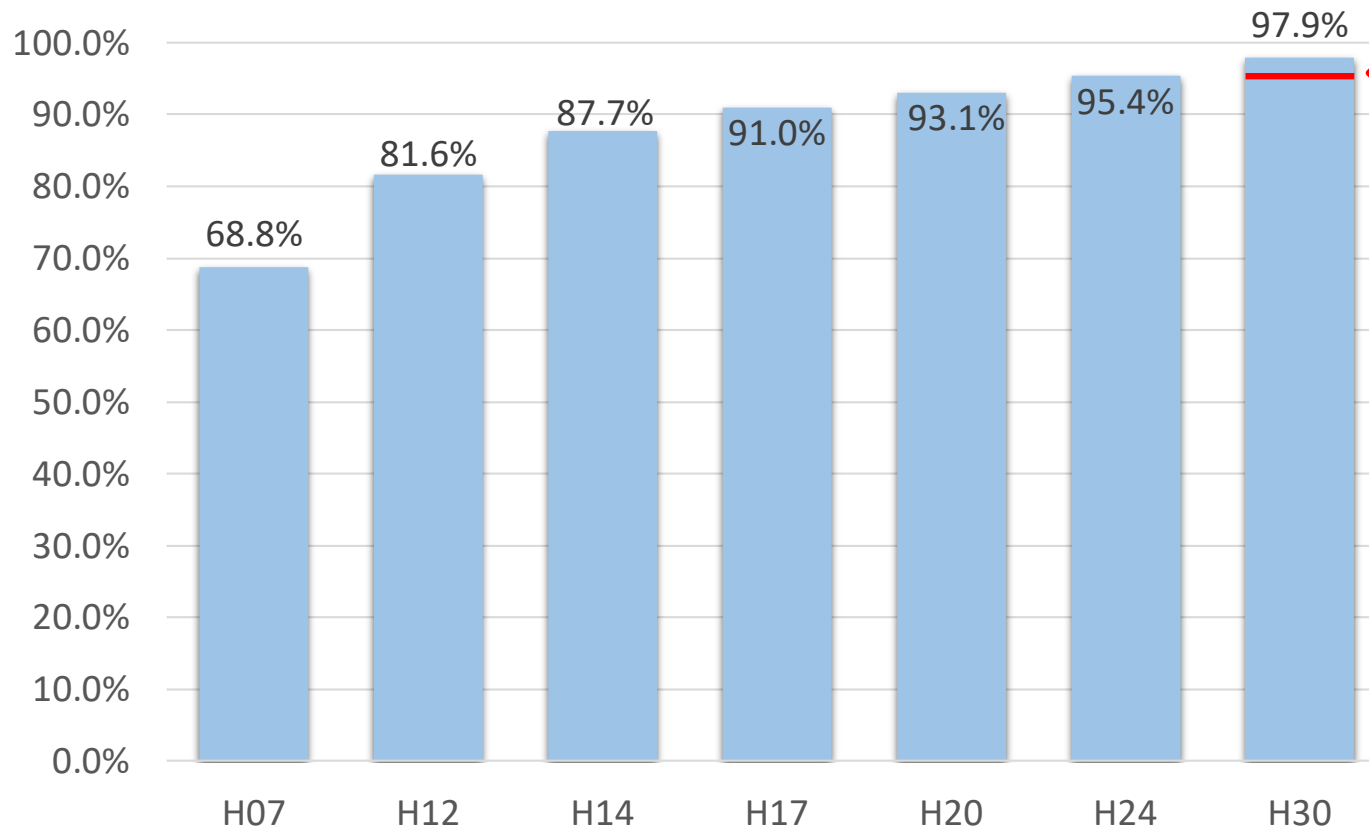
関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会

## 建設リサイクルの現状

○平成12年度以降、建設廃棄物全体の再資源化・縮減率は改善している

○平成17年度には90%を超え、平成30年度には97%以上となっている

建設廃棄物全体再資源化・縮減率



H30目標値：  
96%以上

## 建設リサイクルの現状

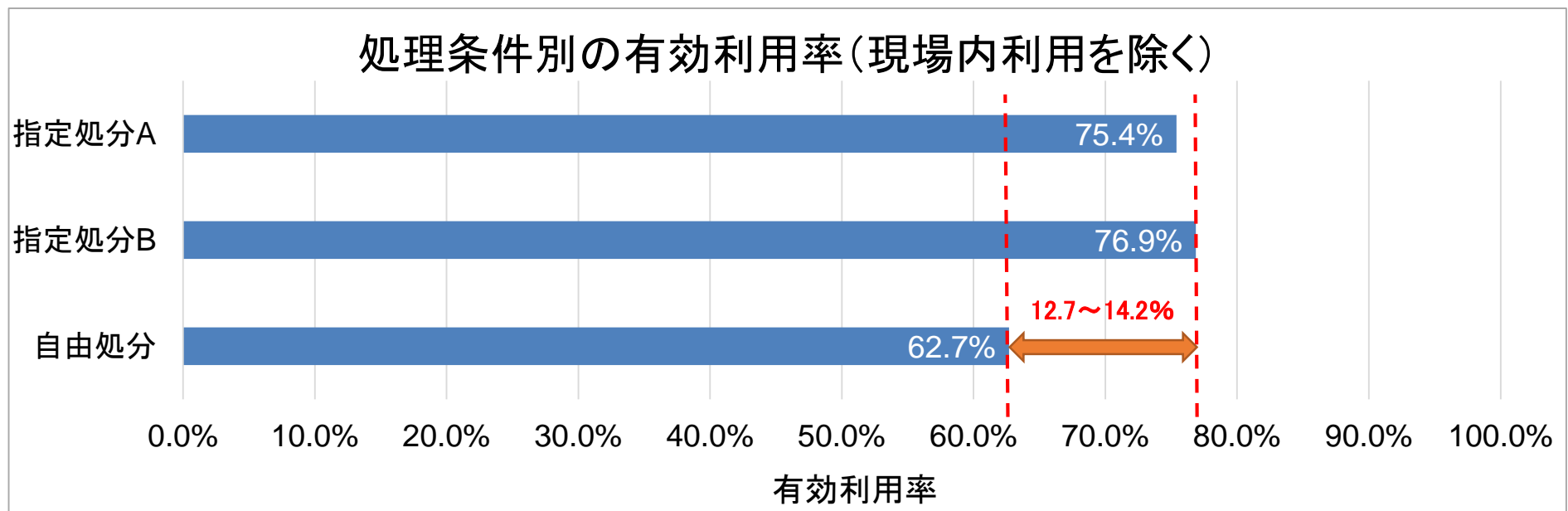
○平成30年度の各品目の再資源化率、縮減率の関東地方の実績は、全国と比較し高くなっている

○建設混合廃棄物の再資源化・縮減率は73.4%、排出率は4.3%と前回調査より向上しているものの、目標達成には満たなかった

対象品目		H24年度		H30年度		H30年度	
		実績		実績		目標	目標値 達成状況
		全国	関東	全国	関東	関東	
アスファルト・コンクリート塊	再資源化率	99.5%	99.7%	99.5%	99.9%	99%以上	達成
コンクリート塊	再資源化率	99.3%	99.5%	99.3%	99.8%	99%以上	達成
建設発生木材	再資源化・縮減率	94.4%	95.8%	96.2%	98.3%	95%以上	達成
建設汚泥	再資源化・縮減率	85.0%	81.9%	94.6%	97.9%	90%以上	達成
建設混合廃棄物	再資源化・縮減率	58.2%	72.1%	63.2%	73.4%	75%以上	未達成
建設混合廃棄物	排出率	3.9%	4.6%	3.1%	4.3%	4.0%以下	未達成
建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	96.0%	95.4%	97.2%	97.9%	96%以上	達成
建設発生土	建設発生土有効利用率	77.8%	74.8%	79.8%	80.4%	80%以上	達成

## 建設発生土に関する課題と今後実施すべき施策

- 「指定処分」を行っている工事に比較し、「自由処分」を行っている工事は有効利用率は低い
- ⇒「指定処分」の拡大を図る



「指定処分」の拡大

指定処分A: 当初発注段階から搬出先を指定しているもの  
指定処分B: 発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの

## 建設発生土に関する課題と今後実施すべき施策

○一部の工事においては、建設発生土の不適切な処理

⇒「ICカードを用いたトレーサビリティシステム」の試行を検討

### 関東協議会の実施内容

協議会内の発注工事で「トレーサビリティシステム」を試行  
→ダンプにICカードを配布、  
工事完成後も返却不要

ICカードを携行する  
ダンプの増加

「トレーサビリティシステム」を利用して土質  
・汚染状況等を管理

受け入れ側の品質  
管理が効率化

民間工事に普及



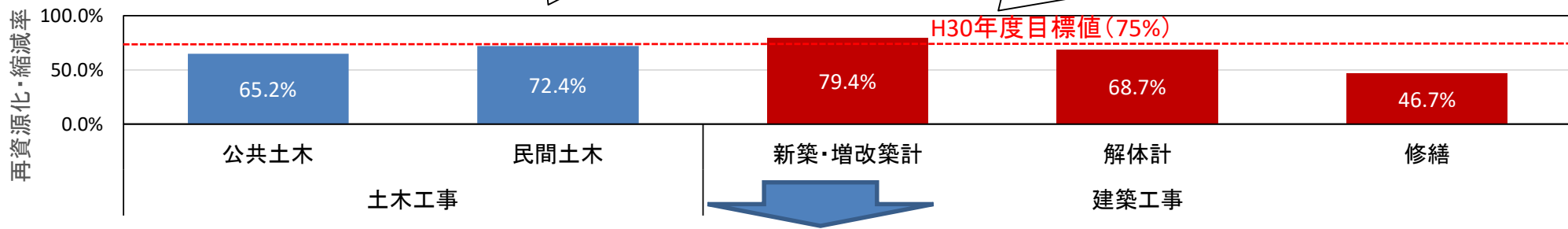
## 建設混合廃棄物に関する課題と今後実施すべき施策

- 土木工事では搬出量が少ないが再資源化・縮減率が低い
  - 建築工事の内、新築・増改築では目標を達成しているものの搬出量が多い
- ⇒地域の実情や工事毎の発生形態に即した「現場分別マニュアル」の作成

●工事種別毎の搬出率



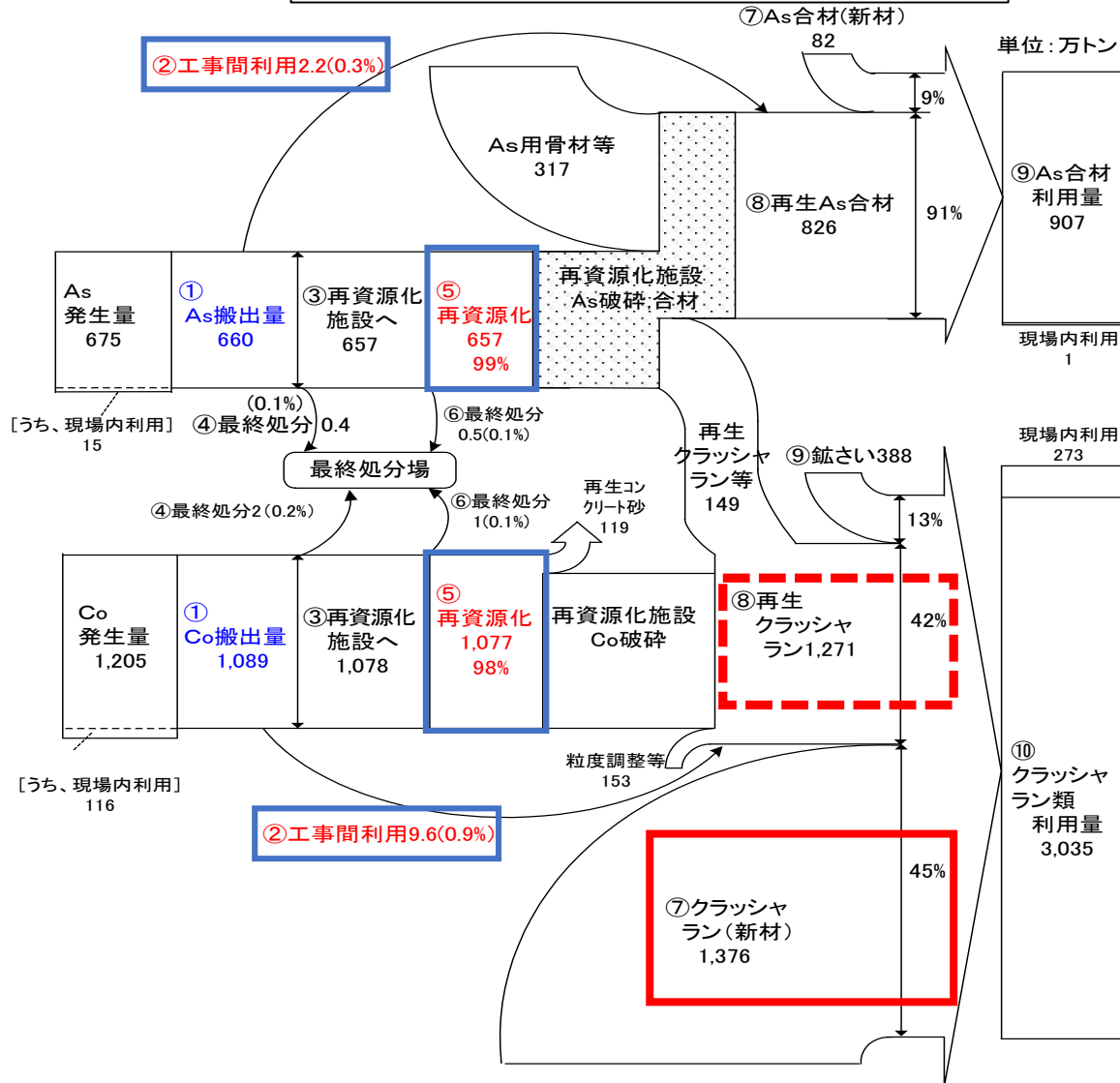
●工事種別毎の再資源化・縮減率



工事毎の発生形態に即した「現場分別マニュアル」の作成

# 再生資材に関する課題と今後実施すべき施策

アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊のリサイクルフロー



○平成30年度のAs、Co塊の再資源化率はそれぞれ99.9%、99.8%  
○一方、Co塊の使用量は、再生材が42%、新材が45%

⇒再生材の一層の利用拡大を図るため、再生材が使用可能な用途を明確化し、調達方針を設定

再生材の使用用途を明確化  
再生材の調達方針を設定

アスファルト・コンクリート塊

再資源化率  $\frac{②+⑤}{①} = 99.9\%$

コンクリート塊

再資源化率  $\frac{②+⑤}{①} = 99.8\%$

## 目標設定

・建設リサイクル推進計画2020にて2024年度の関東地方のリサイクル率の達成基準値は、全国の達成基準値や過去のセンサス実績の推移を踏まえ、全国目標値を超える目標を設定

### 建設リサイクル推進計画2020～「質」を重視するリサイクルへ～ (令和2年9月関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会)

対象品目			2018年度		2024年度	
			実績		達成基準値	
			全国	関東	全国	関東
アスファルト・コンクリート塊	再資源化率	99.5%	99.9%	99%以上	99%以上	
コンクリート塊	再資源化率	99.3%	99.8%	99%以上	99%以上	
建設発生木材	再資源化・縮減率	96.2%	98.3%	97%以上	99%以上	
建設汚泥	再資源化・縮減率	94.6%	97.9%	95%以上	95%以上	
建設混合廃棄物	排出率	3.1%	4.3%	3.0%以下	3.5%以下	
建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	97.2%	97.9%	98%以上	98%以上	
建設発生土	有効利用率	79.8%	80.4%	80%以上	85%以上	